

経済指標ウォッチャー

1月米国雇用統計 労働市場の底堅さが続いていることを示す結果に

今回の結果を受けて、市場の予想以上に金融引き締めが続く可能性も

米国雇用統計とは？

米国の雇用情勢を調査した統計で、米国労働省が公表。米国雇用統計は速報性が高く、原則として毎月第1金曜日に公表される。

米国の金融政策を見通すうえで、雇用関連指標の代表である雇用統計の重要度は高く、投資家の関心が集まる経済指標。

1月の失業率は約53年ぶりの水準に低下

3日に米国労働省が発表した1月の雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比51.7万人増と市場予想の同18.8万人増を大きく上回りました。また、失業率は3.4%と1969年5月以来約53年ぶりの水準に低下し(図表1)、FRB(米連邦準備制度理事会)が完全雇用とみなす4%を大きく下回っています。

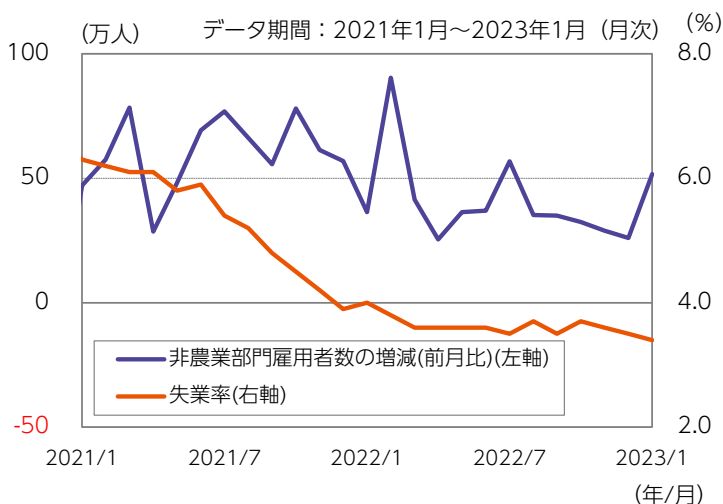
16歳以上の人口に占める労働力人口を示す労働参加率は62.4%と前月の62.3%から小幅に上昇しました(図表2)。米国労働省の求人労働移動調査(JOLT)の12月の求人数は約1,101万人と11月の約1,044万人から大きく増加しました(図表2)。労働参加率が上昇し、雇用者数が増加したにも関わらず、高水準のJOLT求人件数が続いていることは労働需要が供給を大幅に上回っていることを示しており、企業の人手不足解消には時間がかかるとみられます。

予想を上回る結果に金融引き締め継続も

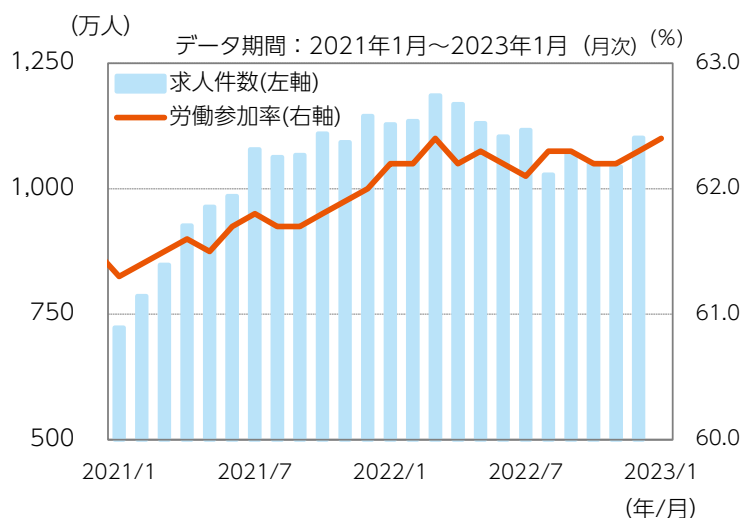
1月の労働者の平均時給は前月比+0.3%と2022年12月の同+0.4%から低下しました。前年同月比は+4.4%と12月の同+4.6%から鈍化したものの、市場予想の同+4.3%を上回りました。2022年3月の前年同月比+5.9%以降、賃金の伸びは低下傾向となっておりピークを付けたとみられるものの、人手不足を受けた企業の賃上げは続いているとみられます。

市場の一部では3月のFOMC(米連邦公開市場委員会)で政策金利が据え置かれるとの見方もあったものの、今回の雇用統計が労働市場の底堅さを示す結果となったことから、先物市場から算出される3月のFOMCの利上げ幅は0.25%との見方が大勢を占めています。FRBがインフレ抑制の障害とみている賃金の伸びは鈍化しつつあるものの、今回の結果は労働市場の底堅さが続いていることが示された結果となっており、市場の予想以上に金融引き締めが継続することも考えられます。今後も引き続き、賃金や失業率などに市場は注目するものと思われます。

図表1：非農業部門雇用者数の増減と失業率



図表2：JOLT求人件数と労働参加率の推移



出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>